



きほく人

Vol.3



日吉ペタンク協会

平成6年結成。会員40名。ペタンクの普及を図るとともに、県外の大会等にも積極的に参加。数々の大会で好成績を収めている。

日吉地区がペタンクに約13年前、全国的に盛んになり始めた頃、当時の日吉村体育指導員が、日吉村に軽スポーツを取り入れようと、ペタンクの盛んな高知県を視察し、日吉に持ち帰ったことがはじまり。体育指導員やペタンク協会の熱心な活動により広がりをみせ、日吉地区のペタンク愛好者は100人を越えた。

「子どもから高齢者まで一緒に楽しめるスポーツ」とペタンクの魅力を語る会長の大森時政さん。日吉ペタンク協会に所属している会員も30歳代から70歳代まで幅広く、男性・女性を問わず気軽に楽しんでいく。

練習日は火、木、土の週3回。午後7時30分から約2時間半、父野川にある練習場で汗を流す。練習場は、会員の井上征廣さんの土地に建てたビル。練習ハウスのペタンク協会が練習用にと約10年前に建てたもので、雨天時や冬場でも練習が可能となり、一年中ペタンクが打ち込める環境が整った。

練習は、3人ずつにわかれてチームを編成し、

試合形式で行われる。「ビュット」と呼ばれるボールを順番に投げつけていき、最終的にビュットに最も近いボールのチームが得点が入る。シンプルなゲームだが、敵のボールをはいじたり、味方のボールに当たってビュットに近づけたりと、状況に応じて戦略を立てることが重要で、試合を有利に進めるためには正確な投球が欠かせない。「簡単に見えるが、やればやるほど難しく、奥が深い。だからこそ、飽きることもなく、長く続けられる」と笑顔で話す会員の皆さん。

現在、会員の多くが普及指導員の資格を取得し、講習会を開くなど、普及活動にも力をいれる。「ペタンクの楽しさを一人でも多くの人に知って



▲手前の赤い球がビュット。上級者はほぼ狙い通りの位置に投球できる。

もらいたい。まずは鬼北町全体にペタンクを広めることが目標。

結成から13年。熱心な練習により、県内外の数々の大会で入賞するなど、いまや全国上位の実力を持つまでになった。

特に、毎年開催される全国選手権大会には、愛媛県代表として10年連続出場しており、昨年は女性の部で2位と3位、男性の部で9位と見事な成績を収めた。今年の大会ではもちろん「全国制覇」を狙う。優勝してフランスで開催される世界大会へ。会員の視線はもうひとつ上の舞台へと向けられている。

まずは、10月に開催される全国選手権大会。世界大会への切符をかけて日吉ペタンク協会の挑戦が始まる。